

は「会津」

来年2月末限り

売り上げ減、老朽化要因 若松

構造改革の一環で店舗の閉鎖を検討していた中合(本社・福島市、安藤静之社長)は二十二日、会津若松市の「中合会津店」を来年二月末で閉店すると発表した。個人消費の低迷と大型専門店との競争激化による売り上げ減が主な理由で、築四十六年の店舗の老朽化も要因となった。市内ではスーパー「会津サティ」が六月末で閉店することが決まっており、相次ぐ大型商業施設の閉店は市民生活や中心市街地のまちづくりには大きな影響を与えそうだ。

(2面に関連論説、26・27面に関連記事)

耐震基準を満たすために建て替えが必要だが、将来的に増収が見込めない中で店舗を新築してまで営業を継続するメリットはないと判断した。

17六店舗で売り上げ規模が最も小さいことも閉店の一因になったとみられる。閉店は今年二月の取締役会で決まったという。

同社は二十二日までに従業員や会津若松市、地元経済界などに閉店方針を伝えた。従業員は正社員四十二人、パート・アルバイト四十人、取引先からの派遣社員百二十人の合わせて約二百人。従業員



発行所
福島民報社

福島市太田町13-17
(郵便番号960-8602)

郵便振替口座 02110-9-1158

電話代表 (024) 531-4111

編集局531-4119 広告局531-4153

事業局531-4173 販売局531-4178

© 福島民報社 2009



読者交流センター 0120-803344

福島民報 <http://www.minpo.jp/>

東北鑑評会
全国新酒鑑評会金賞受賞
17年連続
金賞受賞蔵

名倉山

名倉山酒造株式会社



友田さん（中央）の指導
を受ける岳温泉の関係者

お酒と料理サービス向上

二本松・岳温泉で講習会

岳温泉旅館協同組合（鈴木安一理事長）主催の「旅館における飲料セールスプロモーション講習会」は二十一日、同温泉の樺平ホテルで開かれた。

同市の人気酒造（大

内達社長）の協力で、温泉の旅館・ホテルの経営者や従業員約四十人が出席した。岳温泉女将（おかみ）の会「か

たかこの会」の鈴木美砂子会長があいさつした。

田崎真也ワインサロン講師などを務めている料飲コンサルタントの友田晶子さんを講師に、人気酒造の純米吟醸、夏生純米吟醸など自慢の清酒と各種の焼酎を試飲しながら、お酒に合う料理やサービスの仕方を学んだ。

友田さんは「飲料の売り上げアップには、お客さまと接する人のお薦めの一言が最も重要。勉強と体験を重ねて自信を持って薦められる力を磨いてほしい」などと語った。

公益社団法人認定
申請への経過説明

西郷村のグラウンドエクシブ那須白河で開かれた。